



検査情報月報 6月号 ◀ 概要版 ▶



▶ 横浜市衛生研究所では、試験検査などの結果に解説を加え、検査情報月報を発行しています。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症検査結果（2020年）

この感染症は、溶血性を示す A 群等のレンサ球菌によって引き起こされます。突然の四肢の疼痛、腫脹、発熱などで発症し、その後、ショック状態から死亡することも多い感染症です。今回は 2020 年に市内医療機関から保健所への届出があり、これに伴って搬入された菌株についての検査結果を報告します。

主な結果 ▶ 発生届が出された 18 事例から分離された菌株 19 株が搬入されました。このうち **A 群は 6 事例、B 群は 5 事例、G 群は 7 事例**でした。また、**高齢者に多く発症**する傾向がみられました。

薬事検査結果（令和2年度）

いわゆる健康食品と称して販売されている製品（痩身または強壮効果を目的とする製品）の「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」（医薬品医療機器等法）で規制される成分検査を行っています。

主な結果 ▶ ダイエット、痩身等を標ぼうする 15 検体について、センナ、フェンフルラミンなど 8 項目の検査を行いました。また、強壮効果を標ぼうする 15 検体について、メチルテストステロン、ヨヒンビンなど 8 項目の検査を行いました。その結果、**いずれの成分も検出されませんでした**。

家庭用品検査結果（令和2年度）

家庭用品とは、衣料品や洗剤など私たちが日常生活で使用している生活用品のことをいいます。「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」（家庭用品規制法）に基づき検査を行っています。

主な結果 ▶ 70 検体について、延べ 507 項目の検査を実施しました。繊維製品（えり飾り）3 検体から**特定芳香族アミン（発がん性を有する又は疑いのある物質）を容易に生成するアゾ化合物が検出されました**。

厚生労働省「水道水質検査の外部精度管理調査」への参加結果（令和2年度）

水道水質検査精度管理のための統一試料調査に平成 15 年度から参加して、水質検査に係る技術水準の向上、検査体制の改善を通じて、検査の信頼性の確保に努めています。

主な結果 ▶ 令和 2 年度の調査対象検査項目は有機物として「フェノール類」、無機物として「六価クロム化合物」でした。Z スコア、中央値からの誤差率ともに**良好な結果**でした。
▶ 近年導入された階層化評価では、平成 27 年度が第 2 群、平成 28 年度～令和 2 年度が**第 1 群に評価されました**。

横浜市衛生研究所WEBページ情報（令和3年5月）

当 WEB ページでは、感染症、保健、食品衛生、生活環境衛生、薬事などの情報を提供しています。

主な結果 ▶ **感染症関連の記事を中心**として、総アクセス数は 289,295 件でした。